

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度第1回吉川市総合戦略推進審議会
開 催 日 時	平成28年7月5日(火) 午後6時09分から 午後8時03分まで
開 催 場 所	吉川市平沼地区公民館 洋会議室
出席委員(者)氏名	大杉覚委員、瀬山紀子委員、田口政博委員、小西毅委員、 田中博委員、広嶋秀樹委員、阿部秀夫委員、程田幸秀委員、 小林照男委員、飯村毅委員
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	[市出席者] 市長 中原恵人 副市長 椎葉祐司 参 与 土屋綱男 [事務局出席者] 政策室長 岡田忠篤 政策室主幹 吉田誠 政策室企画担当副主幹 島村善和 政策室企画担当主査 宮田匡寿 政策室企画担当主任 東原拓哉 政策室企画担当主事 鈴木徹 政策室企画担当主事 小林洵
会議次第と会議の公開又は非公開の別	[次第] 1. 開会 2. あいさつ 3. 委員委嘱 4. 諮問 5. 議事 (1) 平成28年度審議会スケジュールについて (2) 地方創生交付金事業の評価・検証について (3) 基本指標・重要業績評価指標(KPI)の進捗管理について (4) 具体的事業の方向性の検討について (5) その他 6. 閉会 [公開・非公開] 公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	4人
会 議 資 料 の 名 称	次第 資料1 平成28年度審議会スケジュールについて 資料2 地方創生交付金事業の評価・検証について 資料3 基本指標・重要業績評価指標(KPI)の進捗管理について 資料4 具体的事業の方向性の検討について 追加資料 総合振興計画と総合戦略の関係図
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	小林照男委員、飯村毅委員

その他の必要事項	
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	1 開会
市長	2 あいさつ 本日もお忙しい中、全委員にご出席いただき感謝する。平成28年度の第1回目となる本日は、後ほど委嘱させていただくが、埼玉りそな銀行広嶋支店長を迎えての新たなスタートとなる。吉川市総合戦略は、昨年度審議委員の皆様と職員が力を込めて作り上げたものである。今日まで気持ち込めてきたものが2点ある。1点目が審議委員の皆様からいただいたご提案を1つずつ実行していくことを考えている。2点目が、市民にしっかりと伝えていくことである。市長キャラバンを全8回地域ごとに開催し、市民に吉川市は、こういう総合戦略を策定したということを説明したところである。市民に理解してもらい、政策展開したいと考えている。今後の取り組みに関し皆様のお力添えをいただきたい。
会長	昨年12月に最後の審議会を行い、少し期間があいての開催となるが、昨年度、総合戦略を完成させ、今年度はいよいよ実戦段階となる。総合戦略はまち・ひと・しごと創生に向けた取り組みとして、全国一律に始めたものである。非常に短い期間の中で作った計画であるが、本来はもう少し時間をかけて作りたところである。吉川市の場合は今年度が総合振興計画後期基本計画の策定の年であり、これをチャンスと捉えて、総合戦略には盛り込まれない事項についても、総合振興計画に盛り込むことができるのである。また、総合戦略は全国的には、昨年度が計画の年で、今年度が実践の年と言われているが、実際には、もう一度計画を立てた部分をきちんと見直ししながら、PDCAサイクルを廻していけるかどうかを見直す必要がある。全国的な人口減少社会の中で始まった「まち・ひと・しごと創生」であり、吉川市は今後10年程度、人口が増え続けるわけだが、その後必ず訪れる人口減少を見据えることが重要であり、また、市長が各地域を回りご説明されているようだが、ある意味恵まれた条件でありながらも、地域の中では、受け止め方、実情が異なる視点は重要である。
事務局	3 委員委嘱 市長より埼玉りそな銀行広嶋支店長に委嘱書を手渡す。 自己紹介
	4 諮問 市長から大杉会長へ諮問書を手渡す。
会長	5 議事 議事開始前に本日の議事録署名委員を選任したい。小林委員、飯村委員を議事録署名委員にお願いしたい。 (両名、了承)

事務局	<p>(1) 平成28年度審議会スケジュールについて 資料1「平成28年度審議会スケジュール」 追加資料「総合振興計画と総合戦略の関係図」を用いて説明。</p> <p><b>【意見・質疑等】</b> 意見・質疑なし</p>
事務局	<p>(2) 地方創生交付金事業の評価・検証について 資料2「地方創生交付金事業の評価・検証」を用いて説明。</p>
委員	<p><b>【意見・質疑等】</b> 地方創生加速化交付金の2次募集に申請しているとのことだが内容等を伺いたい。また、平成28年度の地方創生推進交付金についても申請予定なのか。さらに、本交付金が国から確実に交付されるものか。併せて、事業費についても伺いたい。</p>
事務局	<p>加速化交付金については、吉川の名産であるなまずについて事業申請させていただいた。交付申請額については、3,000万円。また、市内事業所の隠れた名産品に光をあて、これらを発信する事業として、700万円。合計3,700万円を申請させていただいたものである。なお、地方創生加速化交付金も地方創生推進交付金も国に必ず採択される保証はない。また、地方創生推進交付金は、当市の総合戦略の具体的事業が設定されていない状態での申請が困難であるため現在はまだ申請に至っていない。</p>
委員	<p>2点伺う。1点目として花菖蒲の植栽はどこ公園か。2点目は、子育て支援事業で、子育てのしやすさという点は、市民がどのような状態となるのが望ましいのか。今回交付金を活用し、ガイドブックの作成や、イベント等を実施したようだが、今後どのような方向を考えているか。</p>
事務局	<p>1点目の花菖蒲の植栽場所については、中井沼公園である。地元自治会にご協力いただき、植栽したものである。2点目の子育てについては、今年度の市民意識調査の中で、「子育てのしやすさ」、「子育てしにくい部分」について設問を設けているので、集計の上しっかりと分析を行っていききたい。</p>
委員	<p>今後も事業の費用対効果をしっかりと考え、工夫を行うことを要望する。</p>
委員	<p>子育て支援事業について、ガイドブックはどのように配布されたのか伺いたい。また、このイベントは今回の交付金を活用し初めて開催したものなのか。1回限りとなるのか。雰囲気は写真でわかるが、実際どのような方が参加されたのかお聞きしたい。男性の参加もあったのか。今後もこのようなイベントの実施予定があるのかあわせて伺いたい。</p>
事務局	<p>配布方法については詳細を把握していないため、改めて確認したいが、子育て世代を対象に配布したと聞いている。また、子育て</p>

	<p>てフェスティバルのイベントについては、母親だけではなく、父親も多数参加したイベントとなり、キャラクターのショーでは行列ができ、大変盛況であったと報告を受けている。今年度についても、昨年の要素を含む子育てイベントを実施予定である。</p>
委員	<p>観光ガイドマップについては、作ることが目的となつてはならない。一般的な光景で、事務局に山積みとなっていることが見受けられるが、市外に設置、又は設置予定があるのか伺いたい。</p>
事務局	<p>先ほど説明させていただいた魅力PR事業において、市外で配布させていただき、2つのガイドマップの内1つについてはほぼ在庫がない状態である。また、ふるさと納税として全国より寄附申し込みがあり、返品の中にこのガイドブックを入れて発信している。今後も市外においてPR事業を検討しているので、その際に活用したいと考えている。</p>
委員	<p>この観光ガイドマップについては、継続していくことが重要である。これは、観光ガイドマップに限らず子育てガイドブックについても同様である。ぜひ、今後も継続的に作成し活用いただきたい。人口増加がKPIとなっていることに違和感があり、強引な気がしてしまう。観光産業については、なかなかすぐに定住になるとは思わない。観光客数等を設定する必要があったと思う。今の時代は、そのような数値は簡単にとれるのではないだろうか。今後は交流人口を測る必要があると考えている。</p>
委員	<p>今後ガイドブックを作成する際には、クーポン券や、スタンプラリー等ができる内容の工夫が必要であると感じる。</p>
委員	<p>観光資源として花菖蒲を活用し、市の魅力を発信するとあるが、他市から本当に見に行くということを想定しているのか。本当に観光資源として役に立っているのか疑問である。観光客数が把握できるようであれば、ぜひ行うべきである。</p>
委員	<p>提案として、先ほどのガイドマップの設置について、私どもの銀行への設置、また、市外の支店への設置も可能であり、活用いただきたい。</p>
委員	<p>当社系列のバス内への設置も十分可能である。また、工業団地内事業所においても設置することは十分可能であるので活用いただきたい。</p>
会長	<p>この交付金事業に関し、審議会として了承したこととなるが、もう少し意見はないだろうか。市の問題だけではないが、地方創生は、国から、急遽総合戦略を作りなさい、交付金を活用しなさいとなり、かなり短期間にこなさなければならない状況の中ではあるが、果たして、本来国の掲げる政策に照らした際に、ここにぶら下がる事業が、やらざるを得ない事業となってしまったという自治体が全国的に多く見受けられる。一過性としてではなく、継続すべきという意見や、位置づけた事業を今後どう展開してい</p>

	<p>くのかについてはしっかりと議論いただきたい。また、予め私たちの審議会には知らされていなかった点についても、行政のあり方として、今後の事業申請については考慮する必要があり、市民の意見についても同様に重要である。</p>
市長	<p>会長1点だけよろしいか。</p>
会長	<p>それではどうぞ。</p>
市長	<p>時間軸的には、この交付金事業に関しては、審議会が立ち上がる前にすべて決定していた事業であり、審議委員の皆様のご意見はまったく反映していないことについてはご理解いただきたい。先ほど委員より花菖蒲を植えただけで、観光資源となるのか、とご意見をいただいたが、今後さらに、中井沼を活用したアイデアをいただいているので、検討したいと考えている。子育てのガイドブックについても、審議委員の皆様のご意見がまったく入っていないため、ぜひ厳しいご意見をいただき、行政として弾みをつけたいと考えている。</p>
委員	<p>選挙権が18歳以上となり、仕事の関係で学生に話を聞く機会があった。学生の中には、家庭で選挙について話をした家庭もあれば、そうでない家庭もあった。本来であれば、国のことを家庭で話す、そういった親子のコミュニケーションが必要である。子育ての環境をまち全体で良くしていくことは当たり前であり、学校だけではなく、家庭や地域においても子育て環境を整えていくことが重要である。そういった視点からの事業実施を強く望む。</p>
会長	<p>今後に向けた意見である。今回例えば観光ガイドマップで考えると、審議委員から、事業所に設置の協力ができると意見をいただいたが、観光でそういった繋がりを作らずに実施するといった発想が当初は無かったわけで、地方創生というものがそもそも「産・官・学・勤・労・言」といった従来にはない発想で様々な方を巻き込みながら進めていこうというものであり、今回はそこを踏まえて進めていただきたい。また、市長からもあったように、この実施した事業をさらに発展させていくことも重要である。反省すべきことは、しっかりと反省し次回に活かしていただきたい。</p>
委員	<p>実施した事業は尖っていないと感じる。事前相談はしっかりと行うとともに、事業計画を立てる際には、行政だけではなく、民間サイドの視点も取り入れられるよう、民間からの提案等も混ぜながら、進めることが官民連携に繋がり、様々なアイデアの創出に繋がると考えている。今後の交付金の申請の際には、ぜひそのような手法を検討いただきたい。そして、交付金が獲得できた場合は、その後しっかりと行政側でも継続的にサポートいただきたい。今後の手法として提案させていただく。</p>
委員	<p>このガイドマップは吉川市の花菖蒲なのか。</p>

事務局	写真がどの場所かは把握していないため、担当課に確認する。
委員	意見として例えば、花菖蒲についてもそうだが、目指すべき姿を市としてははっきりさせるべきである。
会長	委員から行政の手法も含めて貴重な意見をいただいたので、今後しっかり考えていく必要がある。
事務局	本日いただいた貴重なご意見を今後の事業展開に活かしてまいりたい。また、今回の加速化交付金2次募集に関しては、事前相談として、市長自ら経済産業省に出向き相談を行うとともに、内閣府へも、担当者で事前相談へ伺い、内容について相談させていただいた上で、申請書を提出させていただいた。今月中に採択・不採択の結果が出る予定であることも申し添える。
事務局	(3) 基本指標・重要業績評価指標（KPI）の進捗管理について 資料3 「基本指標・重要業績評価指標（KPI）の進捗管理」を用いて説明
委員	<b>【意見・質疑等】</b> 市民意識調査の回答数はどの程度であったか。また、送付数はどのくらいなのか。
事務局	回答数は現在集計中であるが、500通ほどである。送付対象者は1,500人である。
委員	多様な働き方認定件数についての現状をお聞かせいただきたい。埼玉県ウーマノミクス課で認定している件数を目標に設定していただいたところであるが、県ウーマノミクス課に確認したところ、県の目標値にすでに到達しており、県としては今後認定企業に対し、さらに上のランクを目指してもらおう方へシフトしている。今後ウーマノミクス課と連携し進めていただきたい。
事務局	県のウーマノミクス課との連携については、今後確認していく。また、吉川市も一事業所として認定を今年度受けたことをこの場を借りて報告させていただく。
委員	当社もゴールドを取得しているが、市内事業所としては、現在人手不足となっている事業所が多いのが現状である。多くの市内企業は、認定基準のノー残業デーの設置、出産した女性が働き続けられる環境というのは、実施されている事業所が多いと感じる。例えば、商工会等を通じ申請及び周知させるべきである。また、認定された企業については、市としても、例えば広報紙等でアピールしていく等バックアップする必要があると感じる。行政としては、何か事業所に対し、周知等取り組みを行っているのか伺いたい。
事務局	現在のところは行っておらず、今後取り組みとして検討させていただく。

委員	<p>近年経営者のトップの考え方は変化している。一昔前のように採用側が有利な時代ではなく、就職側の方が、職住接近で働きたい等の考え方が浸透しているのである。人材の確保に多くの事業所が大変苦慮している。市としてぜひ、このKPIの達成に向けて取り組みを検討いただきたい。</p>
会長	<p>1つ確認であるが、まだ、数値が入っていない目標値について今後どのようなスケジュールとなるか。もう1つは、意見として、この審議会に、所管課の方にも来ていただいて、議論の場を設けていただけるよう検討いただきたい。1についてのみお答えいただきたい。</p>
事務局	<p>KPIの未設定数値については、現在市民意識調査の集計を行っており、第2回審議会時に数値案をお示しさせていただきたい。</p>
事務局	<p>(4) 具体的事業の方向性の検討について 資料4 「具体的事業の方向性の検討」を用いて説明</p>
会長	<p>委員より事前に意見をいただき記載したものであるが、例えば今後の交付金申請の際に材料となったり、あるいは、必ずしも総合戦略に即していないものであっても、総合振興計画の策定に反映できるものもあると思う。また、できれば次回、市民目線からの意見や、庁内からの意見等も記載していただけると、それらがまたヒントとなり、方向性を見出すことができるのではないかな。</p>
委員	<p><b>【意見・質疑等】</b> 基本目標1の施策1については、検討いただきたい事項として、「学校の統廃合と小中一貫校」についてである。教育資源の集中を行い教育の質と効率化向上を目指すというものである。また、21世紀型スキルとして、ICT、言語教育の先進的な学術機関との連携による調査・研究。将来のICT教育の推進に向けた、教員の研修・育成とWi-Fi環境の整備。これは、教職員の指導力の向上と環境整備が目的である。また、別の委員からも提案されていたが、市としての表彰制度の充実である。これは意欲向上と達成感の実感追及へと繋がる。</p> <p>施策2については、企業主導型保育事業の積極誘致である。土地・建物情報の提供である。自治体の相談窓口を設置することであり、待機児童の解消に向けた取り組みとなる。子育てコンシェルジュの導入や、アクセシビリティの向上も必要であると考えている。また、医療費の無償化をどこまでできるかについては検討いただきたい。</p> <p>施策3については、産婦人科との連携による産前産後ヘルプサービスの実施、女性の雇用の拡大を前提にした企業誘致である。人口が増えている自治体は、女性が働きやすい職場が多いのが現状であり、そういった事業所を誘致することが重要である。</p> <p>基本目標2の施策1については、子育て世帯の母親からの意見として、吉川美南にスーパーがないとの意見が多かった。市民が真に必要としているものを調査する必要があると感じる。</p>

	<p>施策2については防犯対策、治安維持・向上のため地域の人材の活用である。例えば、リタイアシニア等を活用した防犯パトロール制度を提案する。また、公園等でのスポーツ・子育てイベントの実施により、ハード・ソフトの両面から環境を活かす必要があると考えている。</p> <p>施策3については、基本目標1の施策3と同様に、産前・産後のヘルパー・シッターサービスの充実である。また、基本目標1の施策1と同様に、子育てイベントの実施や、ICTを活用した子育て向けのイベント、プロのアスリートとの交流等である。さらに、子どもの体験活動に対する表彰制度の充実である。</p> <p>施策4については、行政の情報発信のみならず、市民・民間事業者の発信する情報を市が支援を行う。市が主導するSNSの設置と活用。市民・企業・自治体が相互に情報発信を行うプラットフォームの提供。ふるさと納税の推進については、市の名産品、農産物を返礼品として展開するだけでなく、その他、一般市民が必要とする消耗品等を幅広く返礼品として取り入れ、ふるさと納税を呼び込むことが重要と考える。例えば、オムツ等が行えないか今後検討いただきたい。</p>
委員	<p>1つ提案として、施策小項目に対しどのような事業がぶら下がるのかがこの資料では分かりにくく、施策小項目ごと事業をぶら下げることで、どこが足りないのか。また、事業の偏り等が見えてくるのではないか。その結果、事業がまったく見えてくると思われるので標記の方法を検討いただきたい。また、基本目標1の施策1では、具体的事業についても、概要が少しわかりにくいと感じる。誰を対象としているかが見えると分かりやすい。また、施策2についても、様々な事業が記載されているが、子育てと仕事の両立支援が見える事業が良いと感じる。そういった見える化が必要ではないか。また、ひとり親への支援についても現在行政として行っていると思われるので、その辺も見えてくると良いと感じる。施策3については、企業支援、地元密着創業といったテーマが見えてくれば良いと思う。県の行っている在宅ワーカー養成講座は非常にニーズがあり、今後こういったことも考えていく必要があると思う。</p>
事務局	<p>シートの表記方法については、早急に修正し、お示しさせていただきます。</p>
委員	<p>基本目標1の施策1のKPIが漠然としているので、もう少し知識の幅を増やす、好奇心をもてるような事業を実施すべきである。また、基本目標1の施策3の女性に優しい企業に対しての事業等の誘致は必要と感じる。</p>
委員	<p>出産の希望実現プランに関連し、何かを推進する事業だけではなく、もう少し啓発的な事業があっても良いのではないか。制度改革も必要だが、啓発的な活動も含めていくとよいだろう。市民参画の機会等も入れていただけるとさらに良いと感じる。</p>
委員	<p>子どもを見れば大抵、親や家庭環境が見えてくる。親への教育</p>

	<p>を事業へ入れることはできないだろうか。</p>
委員	<p>基本目標1のKPIについて、どういう方法で子どもが未来を生きる力を持っていると判断するのか伺いたい。</p>
事務局	<p>総合戦略の10ページをご覧ください。今回の市民意識調査に新たに設問として設定したものであり、市民に吉川市の子どもが未来を生きる力を持っているかを問うものである。なお、未来を生きる力とは、礼儀正しさや約束・決まり事を守るなど、規律ある生活習慣を身に付け、目的・目標に向かって、諦めず継続的に努力できることを表している。</p>
委員	<p>設問は「持っているか」よりは「持たせられているか」が正しいと感じた。基本目標2の施策1について、就業ニーズに応えるためには、経営者を育てる必要が重要であると感じている。そんな施策があってもよいのではないか。</p>
委員	<p>基本目標1の施策1について、市内に高校はあるが、大学がない。短大でもよいがそのような教育施設があると良いと感じる。</p>
会長	<p>後日何かお気づきの点があれば、事務局まで申し出ていただきたい。まち・ひと・しごと創生の流れの中で、比較的人口減少が進んでいる自治体の中には、今までなかなかやりたくてもできなかった事業について、今回国から交付金が出て、この機会にやっいてこうとしている自治体が、いわゆる総合振興計画とは別に総合戦略を策定し、事業を実施していくことが本来の国の狙いである。ただ、大都市近郊の自治体では、そこまで、差し迫っていない状況の中で、総合計画の中で現在様々な事業を実施している状況ではあるものの、事業の中にはまだ、工夫が足りず、より充実した効果的かつ効率的な事業が行えるのではないかという視点から考えることができる良い機会ではないかと思う。そういう意味で、今回出された意見を総合戦略にすべて盛り込むのではなく、総合振興計画との関連で考えていくことが重要である。今回出された意見の中には、現在行っている事業の中に、関連している事業や、内容が近い事業実施があると思うので、もう少し個別の事業については、引き抜いていただけると意見が出しやすいのではないか。また、他のルートで、市長キャラバンや、市民意識調査等の意見等も踏まえていくと良いのではないか。</p>
事務局	<p>(5) その他          次回の会議日程（8月1日）を通知。会場については市役所第2庁舎204会議室を予定している。</p> <p>6 閉会</p>

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成28年 7月29日

署名委員 飯村 毅

署名委員 小林 照夫